

Otaru City
Waterworks Bureau
100th Anniversary



おたる水道
100年のあゆみ

Since 1914



水道創設100周年 下水道60周年を記念して

おたる水道100年のあゆみ



～ 未来へつなげよう 水道・下水道 ～

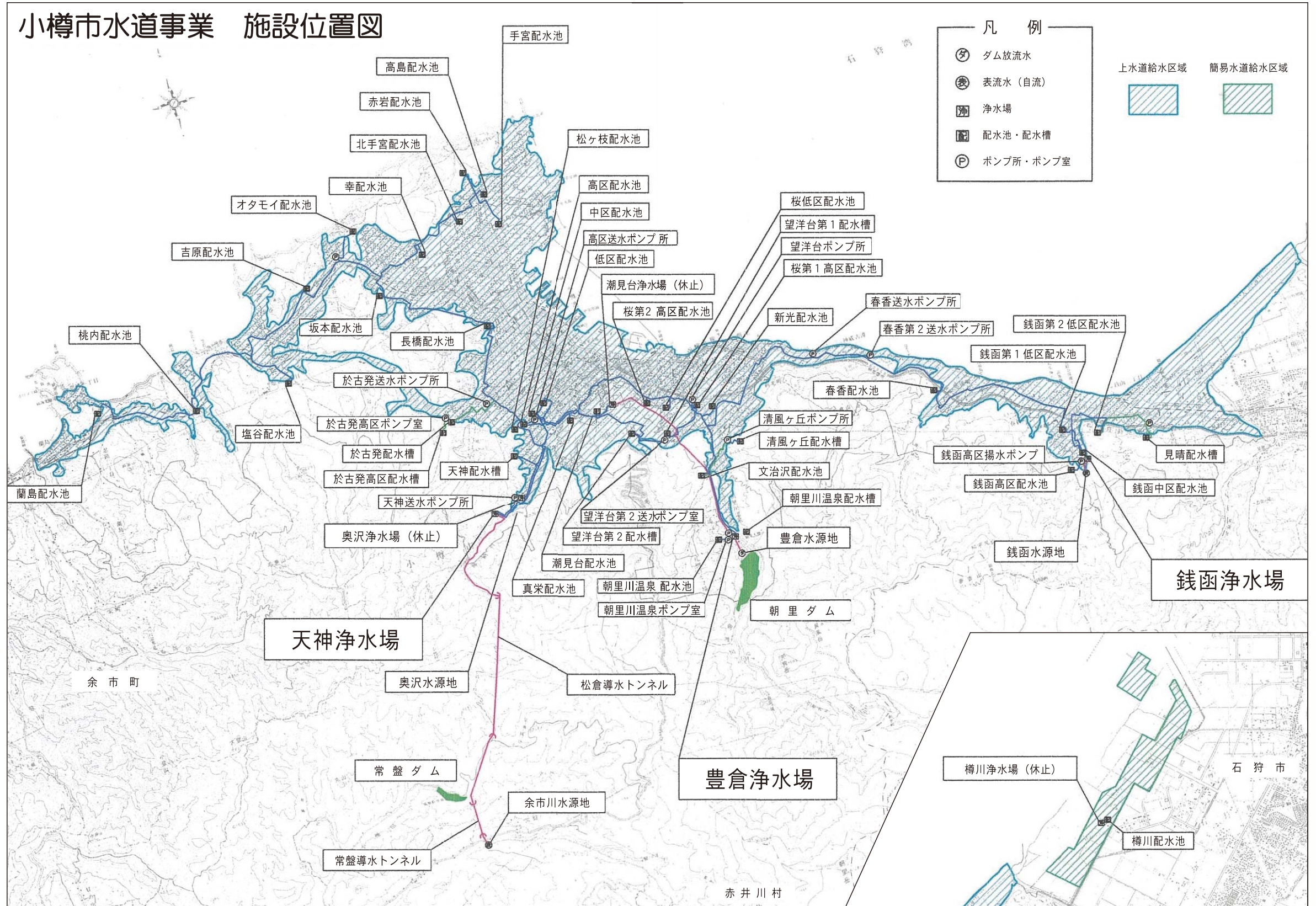


現在の小樽市街



昔の小樽市街（明治42年 小樽区水道公債証書より）

小樽市水道事業 施設位置図



- 凡例
- ☉ ダム放流水
 - ⊕ 表流水 (自流)
 - ☒ 浄水場
 - ☒ 配水池・配水槽
 - Ⓟ ポンプ所・ポンプ室

上水道給水区域 簡易水道給水区域

天神浄水場

豊倉浄水場

銭函浄水場

樽川浄水場 (休止)

余市町

石狩市

赤井川村

小樽市下水道事業 施設位置図

(中央処理区)

中央処理区
3,062.00ha
(2,842.78ha)

(銭函処理区)

銭函処理区
702.00ha
(585.28ha)

(蘭島処理区)

蘭島処理区
82.00ha
(82.00ha)

蘭島下水終末処理場

蘭島地区
55.80ha
(55.80ha)

志路地区
26.20ha
(26.20ha)

中央下水終末処理場

入船汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

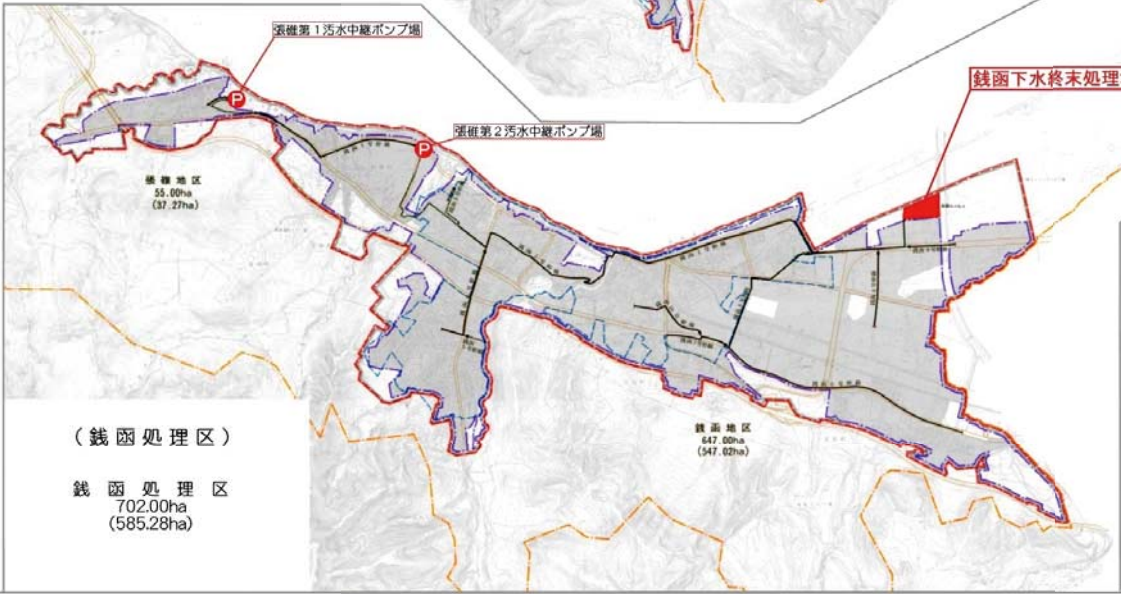
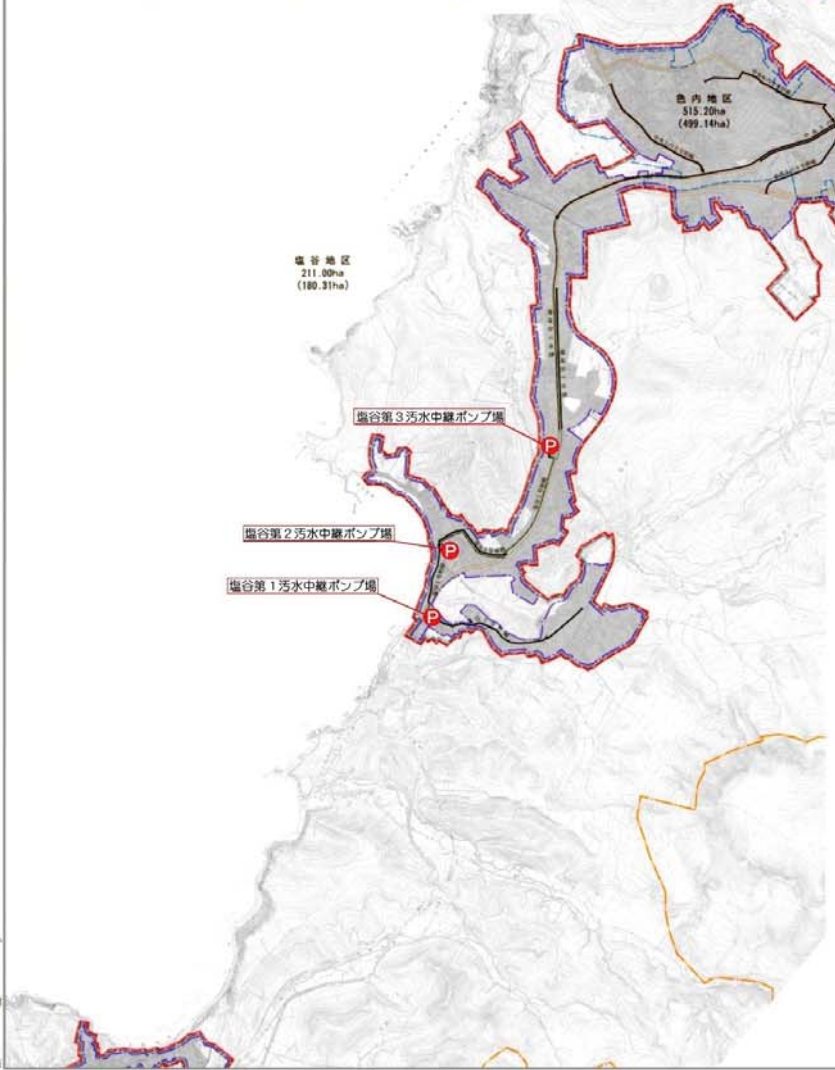
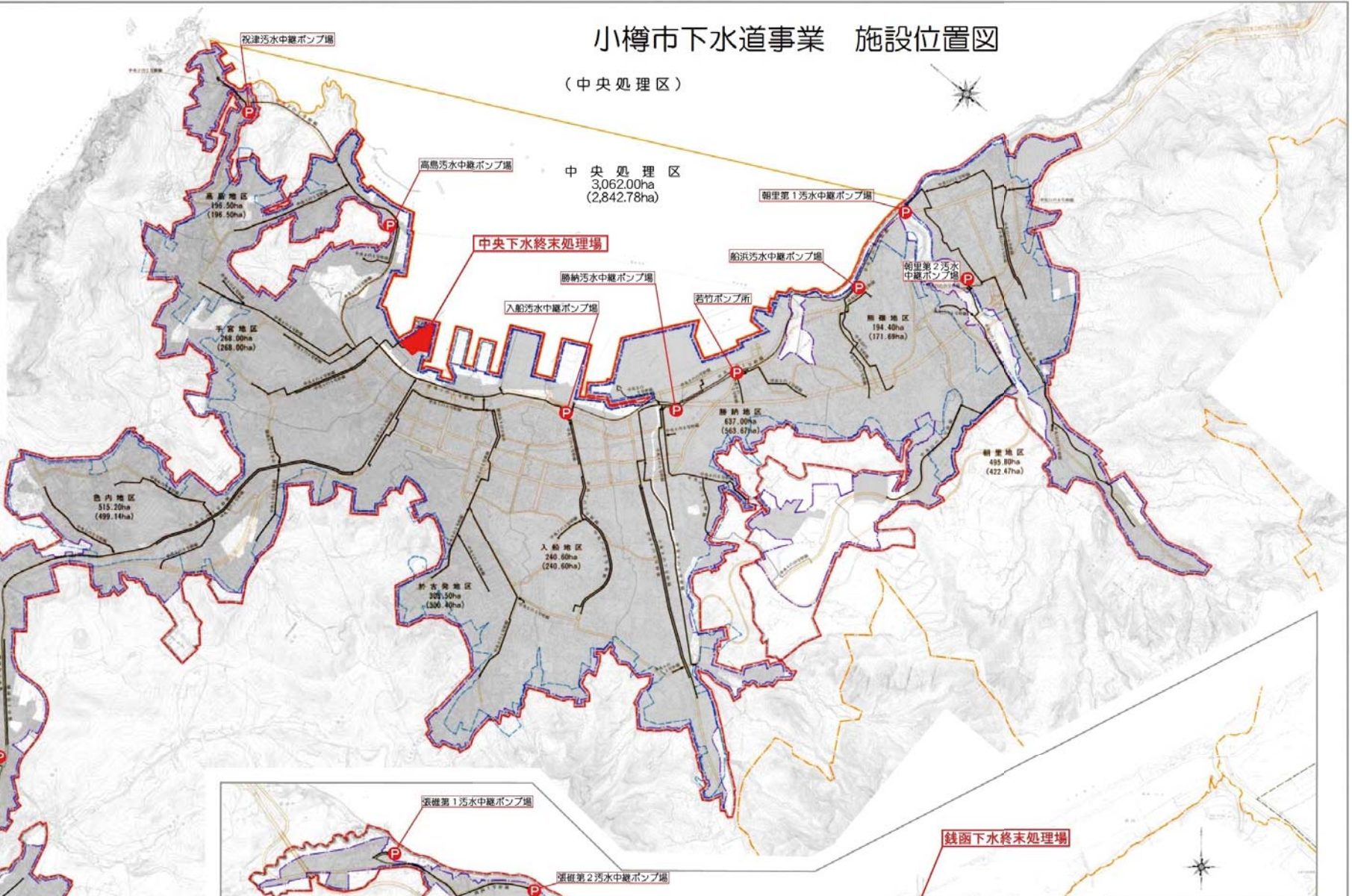
船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場

船納汚水中間ポンプ場



記号	名称	説明
(赤線)	中央下水終末処理場	中央下水終末処理場
(青線)	船納汚水中間ポンプ場	船納汚水中間ポンプ場
(黄線)	入船汚水中間ポンプ場	入船汚水中間ポンプ場
(緑線)	船納汚水中間ポンプ場	船納汚水中間ポンプ場
(紫線)	船納汚水中間ポンプ場	船納汚水中間ポンプ場
(茶線)	船納汚水中間ポンプ場	船納汚水中間ポンプ場
(黒線)	船納汚水中間ポンプ場	船納汚水中間ポンプ場
(赤点)	蘭島下水終末処理場	蘭島下水終末処理場
(青点)	船納汚水中間ポンプ場	船納汚水中間ポンプ場
(黄点)	入船汚水中間ポンプ場	入船汚水中間ポンプ場
(緑点)	船納汚水中間ポンプ場	船納汚水中間ポンプ場
(紫点)	船納汚水中間ポンプ場	船納汚水中間ポンプ場
(茶点)	船納汚水中間ポンプ場	船納汚水中間ポンプ場
(黒点)	船納汚水中間ポンプ場	船納汚水中間ポンプ場

1 : 15,000

小樽市下水道事業部

●奥沢水源地 貯水池



創設時



供用時



現在

●奥沢水源地 階段式溢流路



創設時



現在

●奥沢水源地 奥沢浄水場 緩速ろ過池



創設時



供用時



現在

●水道管布設工事



創設時 配水管布設



資材検査



第1次拡張工事 導水管布設



送水管布設

●潮見台浄水場



第1次拡張工事 完成当時



覆蓋式緩速ろ過池



現在



管理棟（小樽市指定歴史的建造物）

●水源



朝里ダム



余市川 取水堰堤



朝里川 取水堰堤



銭函川 取水堰堤

●浄水場



豊倉浄水場



天神浄水場



銭函浄水場

●下水道管布設工事（昭和31年）



汚水管布設



測量



工事看板



マンホール設置

●下水終末処理場



中央下水終末処理場



銭函下水終末処理場



蘭島下水終末処理場



発刊にあたって

小樽市長 中松 義治

平成26年は小樽市にとり、水道創設100周年、下水道事業着手60周年という、記念すべき節目の年となりました。

上下水道は、いまでは市民生活になくてはならないライフラインとして、非常に身近な存在となっておりますが、今日までの整備の過程においては、先人諸賢の尊いご労苦と市民の皆様の暖かいご支援がありました。

ここに記念誌として本誌を発刊し、先人諸賢の偉業に改めて深い敬意を表するとともに、皆様に心より感謝を申し上げる次第です。

現在、本市では、平成21年に策定した第6次小樽市総合計画に基づき、「歴史と文化が息づく、健康、にぎわい、協働のまち」という将来都市像を目指してまちづくりを進めております。そのテーマのひとつである「安全で快適な住みよいまち」を実現するためにも、上下水道はこれからも大きな役割を担っております。

人口減少社会の到来や施設の老朽化など、時代とともに事業をとりまく状況も変わってきておりますが、今後とも水の安定的な供給をはじめ、施設や管路の改築更新などを着実に進め、先人諸賢の築いた歴史に更に新たな頁を加えて次代につないでいきたいと考えております。

結びになりますが、今後も本市上下水道事業に対し、皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月



刊行に際して

小樽市公営企業管理者

水道局長 飯田 俊哉

大正3年9月30日、創設水道にかかる工事がすべて完成して以来、安全で安心な水道水を安定的に送り続け、平成26年9月30日、記念すべき100周年を迎えました。

また、下水道は、昭和29年12月1日、厚生省に認可申請書を提出してから、快適な生活環境を提供し続けて、平成26年12月1日、記念すべき60周年を迎えました。

平成21年度に策定しました「小樽市上下水道ビジョン」では、「上下水道は市民の財産、お客さまとともに未来へつなげよう」を基本理念としており、上下水道は先人から引き継がれてきた市民の貴重な財産であり、次の世代へと継承していかなければなりません。

これからも、施設の更新や急激な人口減少への対応など、豊かな市民生活や活発な産業活動を支えるためには大きな課題がありますが、先人達のたゆまぬ努力や多くの労苦に思いをはせながら、また、市民の皆様のご支援に感謝しながら、今後も引き続き、収支バランスに十分考慮し、将来を見据えた健全な事業経営に努めなくてはなりません。

ここに小樽水道の歴史と伝統を受け継ぎ、1世紀にわたる歴史をまとめて刊行するとともに、職員一同、決意を新たに、さらなる100年に向けて、一步を踏み出す決意です。

平成27年3月



おたる水道 Since 1914

100年のあゆみ

Otaru City Waterworks Bureau
100th Anniversary